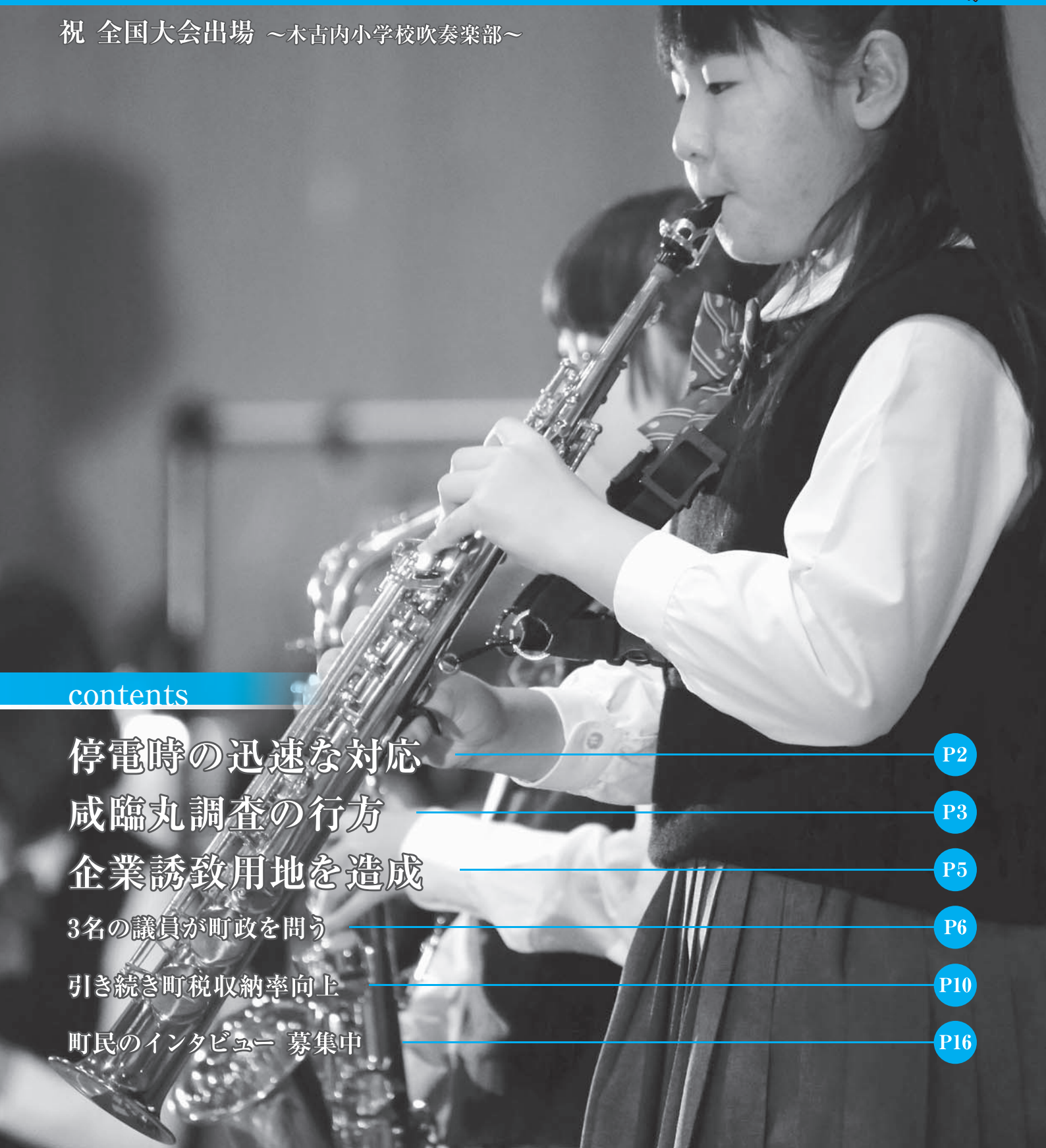
KIKONAI

町民のみなさんと歩む 木古内町

議会だより

vol.144
平成30年11月1日発行
●発行／木古内町議会
●編集／議会だより編集特別委員会
〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218
TEL.01392-2-3131　FAX.2-3622

http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm　木古内町議会　検索



祝 全国大会出場 ～木古内小学校吹奏楽部～

contents

停電時の迅速な対応 P2
咸臨丸調査の行方 P3
企業誘致用地を造成 P5
3名の議員が町政を問う P6
引き続き町税収納率向上 P10
町民のインタビュー 募集中 P16

9月定例会

可決された主な議決事項

議案第１号
　平成30年度木古内町一般会計補正予算（第５号）
議案第２号
　平成30年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）
議案第３号
　平成30年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
議案第４号
　平成30年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）
議案第５号
　平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第１号）
議案第６号
　木古内町多目的活性化施設設置条例制定について
議案第７号
　平成30年度木古内町一般会計補正予算（第６号）
同意案第１号
　木古内町教育委員会委員の任命について
同意案第２号
　木古内町固定資産評価審査委員会委員の選任について
同意案第３号
　被表彰者の決定について
同意案第４号
　被表彰者の決定について
報告第１号
　健全化判断比率及び資金不足比率について
報告第２号
　平成29年度木古内町一般会計継続費の精算報告について
認定第１号～認定第９号
　平成29年度決算審査特別委員会へ付託

９月定例会議案

QRコード

昨年度実施された防災訓練

胆振東部地震による停電時

迅速な対応

自主避難所開設や電源を提供する

行政報告

平成30年９月定例会は、９月14日から21日まで開催され、14日は平成30年度一般会計のほか４会計の補正予算、条例制定１件、同意案４件、報告２件を可決しました。

行政報告では、台風21号の被害状況や胆振東部地震に伴う停電時の対応の報告がされました。

また、教育行政報告では、９月６日から４日間実施された咸臨丸調査について報告がされました。

なお、平成29年度各会計決算認定は、特別委員会へ付託しました。（詳細10ページ）

また、一般質問では、竹田議員、相澤議員、鈴木議員の３名から質問が出され、活発な議論が交わされました。（詳細６ページ）

最終日の21日には、台風、地震災害に係る人件費等の補正予算の追加、閉会中の事務調査の発議案１件、意見書案３件を可決し閉会しました。

行政報告

台風21号（９月４日から９月５日最接近）の被害報告、対応等とその翌日（９月６日）に発生した胆振東部地震における停電等の対応について報告がされました。報告内容については、次のとおりです。

台風21号被害報告

避難所４カ所開設

台風21号は、渡島半島に接近が見込まれたため、９月４日午後１時30分に災害対策本部を設置、深夜が暴風雨のピークになることから、午後３時30分より避難準備、高齢者等避難開始が発令され、中央公民館の他、町内４カ所に避難所を開設、32世帯40人が避難されました。

翌５日の被害調査の結果については、屋根の飛散３件のほか、漁業被害では集荷場等の破損約90万円、商業被害では店舗看板の破損約240万円で人的被害については、ない旨の報告がされました。

また、出動については、役場職員47人、消防署員４人で、災害対策本部については、天

候が回復した5日午前5時30分に解散されました。

胆振東部地震に伴う停電対応

9月6日午前3時8分に全道規模の地震が発生し、全道全戸が停電する事態となったため、災害対策本部を設置した旨の報告がされました。

停電対応としては、停電、交通状況などを防災無線で情報提供したほか、社会福祉協議会と行政が連携し、独居高齢者宅の安否確認が行われました。

また、午後5時からは、役場庁舎と中央公民館の2カ所を自主避難所として開設し、9世帯11人が避難され、役場ロビーでは携帯電話の充電電源を提供し、約200人の利用があった旨の報告もされました。

出動については、役場職員47人、消防署員5人です。なお、この地震の影響により各種検診や消防フェア、病院祭りなどのイベントも中止や延期されました。

これに質疑あり

竹田議員　地震での被害がないので、報告がなかったのか。ないならその旨の報告もすべきと思います。

大森町長　特に異常はないと報告を受けています。報告内容については、今後検討していきます。

平野議員　各避難所でいろいろ問題があると聞いていますので改善に努めてください。また、節電に対しての考えや町民への周知をどう考えていますか。

大森町長　北海道電力より20％の節電のお願いなどと道民全体へ協力依頼がされていますが、具体的に町では一定数の蛍光灯を外すなど、節電に心がけています。

また、町民に対しましても、防災無線や町のホームページ等で周知に努めていきます。

教育行政報告

「咸臨丸」海底調査発見出来ず再調査へ

東京海洋大学岩淵聡文教授、オランダ文化庁の調査官レオン・デレクセン氏らによる「咸臨丸海底調査」が9月6日から9日までの4日間サラキ岬沖で行った旨の報告がありました。

調査内容については、専門潜水士の潜水により木造沈没船を探索し、船体の一部の木材サンプルから年代や産地を特定する分析を行うものです。

結果については、船体があると予測された場所に砂利や砂が厚く堆積し、海藻が繁茂しているため、船体は発見されませんでした。

なお、海藻が枯れる時期に再び調査を行いたい意向が示されています。

町としては、沈没場所の解明に繋がることから、調査団と情報を共有しながら、引き続き調査体制に協力していきたいと報告がされました。

これに質疑あり

平野議員　今後も調査予算の伴う事業と思いますが、発見された場合も含め、町としての将来的なプランや考えはありますか。

野村教育長　咸臨丸が沈んだ終焉の地としての観光資源、あるいは教育研究の場としての活用が見込まれます。

また、事業予算については、あくまでも調査主体である東京海洋大学とオランダ文化庁です。それに町としても前向きに協力していきます。

ロマンが眠るサラキ岬沖
再調査に期待が膨らむ

意見書案

各関係大臣等へ意見書3件を提出

意見書案の審議では、3件を原案のとおり可決し、内閣総理大臣のほか関係大臣等に提出しました。内容については、次のとおりです。

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

・提出者　手塚議員

意見書案

QRコード

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

・提出者　吉田議員

意見書案

QRコード

○障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

・提出者　福嶋議員

意見書案

QRコード

同意案

教育委員会委員に 工藤嗣美 氏

工藤嗣美（くどうつぐみ）さん（札苅地区）

木古内町教育委員会委員の任期満了に伴い、工藤嗣美さん任命することについて提案があり、満場一致で同意しました。

固定資産評価審査委員会委員に 名須賀六男 氏

名須賀六男（なすかむつお）さん（本町地区）

木古内町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、名須賀六男さんを任命することについて提案があり、満場一致で同意しました。

自治功労者表彰 緑川二三男 氏

緑川二三男（みどりかわふみお）さん（泉沢地区）

木古内町表彰条例に基づき、緑川二三男さんの自治功労者表彰の提案があり、満場一致で同意されました。

功績概要については、消防団員として32年の勤務の中、泉沢地区をはじめ、町内全域の予防活動等に従事し、地域の安全に多大な貢献をされ、現在も第三分団長として活躍されています。

自治功労者表彰 故 多田賢淳 氏

故 多田賢淳（ただけんじゅん）さん（本町地区）

木古内町表彰条例に基づき、故 多田賢淳さんの自治功労者表彰の提案があり、満場一致で同意されました。

功績概要については、最勝寺の住職、保育園を経営する傍ら、28年の長きにわたり木古内町観光協会副会長として町の観光に力を注いできました。町の発展を強く願い、豊富な知識と斬新かつ創意工夫に富んだ発想力を活かし、サラキ岬へのチューリップ植栽など、観光産業の発展に多大な貢献をされました。

議会中継 視聴しましたか？

スマホやパソコンなどから気軽に視聴できます。

YouTube

※平成30年８月より議会中継配信をユーストリームからユーチューブへ変更しました。

木古内町議会　検索

表彰状を授与された緑川二三男さんと多田房子夫人

第４回臨時会
８月30日開催

企業誘致用地 地盤改良費用
反対・賛成討論の末 原案のとおり可決

来年２月のオープンを予定しているホテル「クラッセイン木古内」完成イメージ

平成30年第４回臨時会が８月30日に開催されました。提出された議案については、木古内町本町地区町有地の造成事業に係る費用３６００万円、咸臨丸調査費用の20万８千円です。その他には、専決処分（※１）の承認として、中学生の全国バレーボール大会の参加費用に係る報償費等が提出されました。

【補正提案理由】

企業誘致用地のホテル新築工事に伴い、周辺の町有地を造成するもので、排水路の改良・地盤改良・路盤工等の工事費用です。工事費の内訳は、排水路の改良に600万円、土を掘削する土工に400万円、地盤改良工に500万円、路盤工に２０５０万円、構造物撤去工に50万円となっています。

この町有地の造成工事については、平成28年９月に企業誘致用地として購入した際に、排水路の整備など、土地の整備が必要と認識していたものの、地盤調査を行わないまま現在に至り、ホテル建設の申請、助成金の交付決定を行っています。このホテル新築工事と合わせ、地盤調査を行った結果、補正提案の積算額となっています。

なお、ホテル建設に使用しない残存地については、中央駐車場の代替地としています。

討論

【反対討論】

竹田議員 企業誘致は、これまで町長が強調してきた政策であり、町の発展に繋がるという思いは理解します。

しかし、この度の臨時会では、議論や説明不足の状況ですので、排水路など現地を見てから予算の圧縮などを再検討すべきと考えます。

【賛成討論】

福嶋議員 企業誘致用地の造成工事だけではなく、町民のための中央駐車場の整備でもあり、総合的に判断し町の発展に必要なものと考えます。

平野議員 行政側の進め方や議会での反対により工事が遅れることは、条例に基づいて申請された事業者をはじめ、町にとってもプラスではないと考えます。補正提案までの進めについては、行政からの謝罪もあり、今後の対応等の発言もありましたので、それらを踏まえ賛成とします。

採決

【賛成議員】

佐藤議員
新井田議員
平野議員
手塚議員
福嶋議員
鈴木議員
吉田議員

【反対議員】

竹田議員
相澤議員

賛成７反対２ 可決

第４回臨時会議案

QRコード

（※１）専決処分…議会の議決又は決定すべき事件について、町長が議会に代わってこれを処分することをいう。

一般質問

３名の議員が

町政を問う

一般質問は、定例議会（年４回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。

竹田　努　議員

1　文化、スポーツ振興施策について

相澤　巧　議員

1　防災と停電について

鈴木　慎也　議員

1　我が町のエアコン設置状況と今後の計画について

竹田　努　議員
takeda tsutomu

QRコード

問　今後の文化・スポーツ振興施策の整備は

答　自由に学ぶことができる環境づくりが大切 —— 町長

文化・スポーツ振興施策の条例化は

少子高齢化が文化・スポーツにも顕著に表れています。今後、何らかの振興策を加えなければ、消滅しかねない状況でないかと思います。

この背景には、文化団体の後継者不足などがあり、教育委員会も努力してきていますが、町としてこの実態をどのように捉えていますか。

また、この文化・スポーツ振興施策の整備については、町が存続のため条例化すべきと考えますが、どのように考えていますか。

大森町長　文化・スポーツ活動の実態については、近年、少子高齢化に伴い団体数、会員数が減少しています。その一方で、価値観の多様化による個人での活動や新たなサークル活動が始まったことも認識しています。

こうした中、町民一人ひとりが生涯にわたり、文化やスポーツに親しみ、生きがいをもって生活できるよう、個々の主体性に基づいて自由に学ぶことができる環境づくりが大切だと考えています。その振興に関わる課題を教育委員会と共有し、計画に基づいた施策の充実に努めています。

芸術文化活動については、地域の魅力を生み出し、潤いのある豊かな暮らしを支える大切な活動であると認識しています。このため、文化団体協議会への支援など、文化活動の振興に努めていきます。

スポーツ活動については、体力の向上だけでなく、心と身体両面にわたる健康保持・増進に大きな効果があります。このため、体力や年齢に応じて気軽にできるニュースポーツをはじめ、各種教室や競技大会を開催し、スポーツ振興に努めています。

また、体育協会やスポーツ少年団などと連携を図り、町外交流事業を促進するなど、スポーツ活動の支援に努めています。

社会教育施設については、町民が安全に利用できるよう定期的な点検や改修など、効率的な運営と維持管理を進めています。

条例化については、サークル等が主体的に運営することが一般的で、現状を踏まえながら一緒に考えなければならない問題と認識しています。

文化・スポーツ活動も価値観が多様化してきている

相澤　巧　議員
takumi aizawa

QRコード

問　冬期間の停電　防災対策は万全か

答　防災計画を見直し　発電機等を計画的に整備する ―― 町長

発電機や暖房器具の備蓄状況は

9月4日から5日にかけて台風21号の雷雨、翌6日には、震度7の最大級の地震が発生し、全道で停電も起きました。

当町では、消防署員、町職員の巡回や情報収集、防災無線による広報や停電時の非常電源の確保など、大きな被害もなく済んだものとは思っていますが、この状況が冬場の厳寒期だったらどうなってしまうのかと思うところです。

次の事項について町長の見解を伺います。

質問1　発電機や暖房器具の備蓄状況は、どうなっていますか。

大森町長　発電機については、町内に3台備えており、このたび自主避難所の最低限の電源を確保しました。

暖房器具については、各避難所に設置しています。冬期間の対応としては、各避難所に暖房器具のほか、発電機も必要となってきますので、年度内に木古内町防災計画を見直し、次年度中に電源確保について整備する予定です。

質問2　地震による苫東厚真発電所の損壊により、電力の供給バランスが崩れ、事故のないほかの発電所も停止したため、ブラックアウト（※1）が発生しました。このように道内全域が一斉に停電することのないよう町として、または他の自治体と連携して北電に対し文書で要請すべきと思いますが、どう考えていますか。

大森町長　北海道電力福島営業所長が来庁され、停電についての陳謝と節電についての要請がありました。その際に、再発防止に努めるよう要請を行ったところです。

また、渡島地域電力需給連絡会では、当町より担当課長が出席し、節電にかかる意識合わせや要請などの意見交換を行っています。

今後、他自治体との要請についても、北海道町村会と連携した取り組みを進めていきます。

役場に備え付けの発電機　今後台数の増加が求められる

（※1）ブラックアウト…停電。特に発送電システムの全系崩壊を指す。

鈴木　慎也　議員
suzuki shinya

QRコード

問　公共施設のエアコンの設置計画はあるか

答　管理・運用に関する要綱の制定を検討したい ―― 町長

エアコンは贅沢品ではなく必需品では

北海道の熱中症による救急搬送状況では、学校のエアコン設置率0.3％と全国最下位であるにも関わらず、搬送数が393人と全国32位となっています。

本来であれば学校の全教室に、エアコンを導入することが理想ですが、財政負担が大きいことから、全国的にも設置の障壁になっています。

これに対し国は、学校環境改善交付金としてエアコンの設置に3分の1の額を補助しており、町は有効に活用すべきと考えます。エアコンは贅沢品ではなく、必需品であり、子ども達が適正な室温で学べる環境作りを望みます。

次の事項について町長の見解を伺います。

質問1　町の公共施設のエアコン設置状況は、どのような状況ですか。

大森町長　10の施設に設置しています。この内、道の駅と国保病院は、全館対応の設備ですが、ほかの8施設については、各所合計で22基のエアコンを設置しています。主な設置場所は、特養いさりびの各ステーションと通所リハビリ、学童保育施設、健康管理センターの診察室、役場と小学校のパソコンサーバー室などに設置しています。

質問2　小中学校及び公共施設のエアコンの設置計画はありますか。

大森町長　小中学校については、夏休みもあることから、学校環境衛生基準の28度以上になることが極めて少ない状況ですので、エアコンの必要性は低く設置は考えていません。

ほかの公共施設については、町内会館等の計画はありませんが、公民館、スポーツセンターの内部設備等の改修計画で、冷暖房設備の設置を計画しています。

また、公共施設全般の冷暖房設備については、災害時の対応を見据え、計画的に検討していきます。

質問3　保育園、高齢者が利用する施設等にエアコン設置または助成制度の考えはありますか。

大森町長　各施設の設置の判断もあることから、民間施設に対するエアコンの設置、助成の考えはありません。

北海道でも冷暖房のエアコンは経済的で便利

平成29年度 決算審査特別委員会

平成29年度全９会計の決算を認定

９月14日の定例会では、平成29年度９会計の決算を議長と監査委員（竹田議員）を除く全員で構成する決算審査特別委員会（手塚委員長）を設置し、付託しました。

この特別委員会では、平成29年度一般会計決算のほか８会計を審査し、９月21日に所見を付して全会計を認定しました。

決算審査特別委員会に付託された案件

認定第１号
平成29年度木古内町一般会計決算認定について
認定第２号
平成29年度木古内町国民健康保険特別会計決算認定について
認定第３号
平成29年度木古内町後期高齢者医療特別会計決算認定について
認定第４号
平成29年度木古内町国民健康保険病院事業会計決算認定について
認定第５号
平成29年度木古内町水道事業会計決算認定について
認定第６号
平成29年度木古内町介護老人保健施設事業会計決算認定について
認定第７号
平成29年度木古内町介護保険事業特別会計決算認定について
認定第８号
平成29年度木古内町介護サービス事業特別会計決算認定について
認定第９号
平成29年度下水道事業特別会計決算認定について

昨年に引き続き 町税収納率向上

過去10年で最も高い水準

決算審査特別委員会
委員長　手塚　昌宏

「審査所見」

平成29年度各会計決算の中で、一般会計については、実質収支４７９１万円の黒字となった。

その中で、自主財源である町税については、過去10年間の中でも最も高い収納率となり、昨年度の審査所見と同様に評価に値するものである。今後も貴重な一般財源確保のため、さらなる収納率向上に引き続き努力されたい。

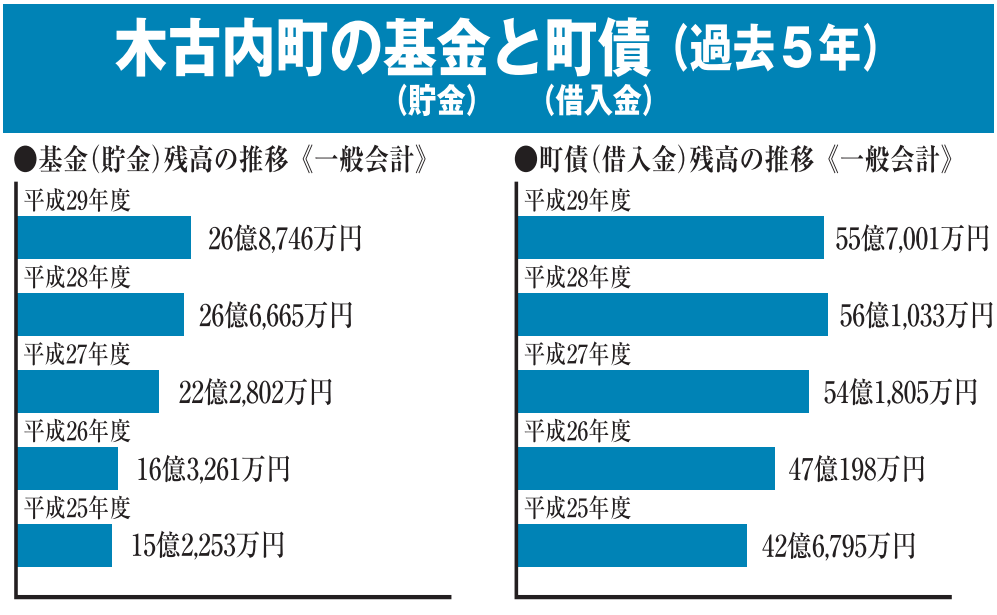
高齢者等入浴無料券交付事業については、周知徹底に努めているが、交付率39．２％、利用率20．７％にとどまっていることから、利用率向上に向けて利用者の利便性を考慮するなど、目的である高齢者や障がい者の健康増進に尽力されたい。

漁業振興事業については、漁家と行政をはじめ関係機関との連携が重要であることから、中長期的な取り組みを行い、漁獲増に向けて鋭意努力されたい。

給食配送については、児童生徒への安心安全な給食提供のため、車両に関する仕様、基準を定める等、早急な対応を求める。

水道事業については、上水道事業から簡易水道事業に移行されることにより、経営改善が見込まれるものの、人口減や将来的な大規模公共事業の終了により、給水量の減少が想定されるため、今後も健全経営に向け努力されたい。

木古内町の基金と町債（過去５年）



質疑抜粋

議会事務局

議会ネット中継の視聴数は

平野委員　議会中継が変更された経緯と視聴者数の状況を説明ください。

西嶋主査　議会中継は、以前使用していた動画サイトが有料化されたことにより、8月よりユーチューブに変更しています。

　視聴者数については、特定出来ませんが、アクセス数から一定のユーザー数がいると推測されます。今後も、一人でも多くのかたに見てもらえるよう、議会だより等で周知に努めていきます。

議会ライブ中継の視聴方法

木古内町議会　検索

1 町公式WEBサイトのトップページ右側の木古内町議会をクリック

2 木古内町議会ページ最下部の「議会ライブ中継」をクリック

3 ユーチューブ(youtube)サイトの木古内町議会チャンネルが表示されます

総務課

通学助成の残額理由は

鈴木委員　他自治体への通学補助に執行残がありますが、申請状況を説明ください。

幅崎主査　申請漏れではなく、知内高校へバスを使わず自家用車で行かれる場合もあるためです。

平野委員　申請行為が必要と理解していますが、通学者全員に援助金として配ることはできませんか。

大森町長　条例に基づいたものですので、担当課と協議したいと思います。

防災無線の電池交換は

新井田委員　防災行政無線の電池交換は、行政で対応するという認識でよろしいですか。

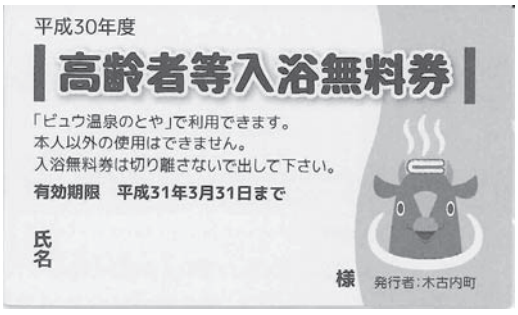
若山総務課長　防災行政無線は、停電時でも電池で2日間程度は持ちますので、定期的に個人で電池交換してくださいと周知しています。

　今後、電池の配付がいいのか、個人での管理がいいのかなど、周知方法を含め検討させてください。

保健福祉課

高齢者等入浴無料券の事業分析は

新井田委員　高齢者等入浴無料券の利用率が低くなっていますが、事業の分析はされていますか。



配付対象が70歳以上になった高齢者入浴無料券利用者増に向けて様々な努力をしている

武藤包括ケア推進室長　事業内容については、広報紙、各種会議等で周知徹底し、無料券の配付についても、町内会館等に出向き実施しています。また、取りに来ることが困難なかたについては、自宅まで届けています。

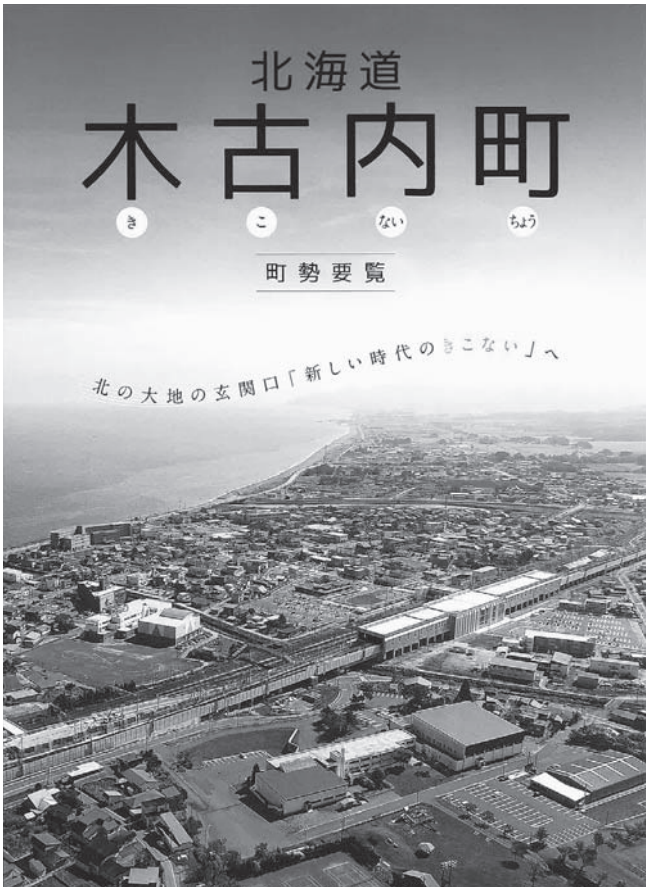
　事業分析については、実施していませんが利用する必要性がないかたなどもいるため、今後の状況により事業のあり方そのものについても検討が必要と考えています。

まちづくり新幹線課

すばらしい町勢要覧ですが

平野委員　町勢要覧は大変良いものが出来たと思いますが、前回の発行から約20年経過しています。今後の作成に対する考えはありますか。

木村まちづくり新幹線課長　記録としての必要性を踏まえ10年に一度程度は作成すべきと思いますが、予算が伴うものですので、より効果的な方法を検討していきます。



ドローン撮影による町全景表紙

対象経費の１／２、100万円が限度額の空き家リフォーム助成事業

空き家リフォームのPR方法は

平野委員　空き家リフォーム助成事業は、利用者3件と報告されましたが、周知方法について説明願います。

中村主査　まず現状の空き家をしっかりと把握したうえで、町ホームページから空き家の状況を発信し、それに合わせてリフォーム助成についても周知させたいと考えています。

産業経済課

狩猟免許等取得補助金活用なし

新井田委員　狩猟免許等取得補助金の活用がない状況ですが、狩猟者の育成を含めて、この現状をどのように考えていますか。

中山主査　昨年度の状況は、制度概要のチラシを全戸配付するなどしましたが、申請がない状況でした。今年度については、１名のかたが免許試験を受けている状況です。

ヒジキ養殖の取り組みは

新井田委員　ヒジキ養殖技術導入事業を活かした今後の展望や現在取り組んでいる漁業者数の状況を説明願います。

福井主査　天然ヒジキ漁家数は、13漁家ですが、まだ養殖に取り組んでいる漁家はいません。養殖ヒジキは、天然に比べ成長も早く、品質的にも問題ないため、前向きに取り組みたいという漁家が数件あると報告を受けています。

平野委員　販売する際は、養殖ヒジキと天然ヒジキの区分けをしますか。

福井主査　今後、養殖の成果品を販売する際には、区分けする方向で検討されています。

アワビ密漁対策は防犯カメラの設置

新井田委員　アワビの漁獲量が減った理由は、天候不順とのことですが、密漁の要素はありませんか。

福井主査　少なからず密漁の要素もあると思います。密漁対策としては、漁港等に防犯カメラを設置して監視をしています。

鈴木委員　防犯カメラの動画解析はされていますか。

福井主査　盗難等が発生した場合など、動画解析をしています。

密漁監視カメラ

みそぎ浜を訪れる外国人観光客
多言語表示している案内図

フリーWi-Fiの課題は

鈴木委員　駅周辺にWi-Fi目的で歩いている町民や観光客を見かけますが、課題や現状の利用状況について報告願います。

福井主査　月2千件を超えるアクセスがあります。利用者の内訳としては、英語でのアクセスが4割あり、外国人観光客の利用も多くある状況です。課題としては、接続がわかりにくく難しいとの声もありますので、自動で接続画面に切り替わるようにするなど対応をしています。

建設水道課

公営住宅の入居状況は

鈴木委員　港団地建替により、入居者にとって住環境が向上しますが、入居率の減に対する対策はありますか。

小西主査　入居率は町全体の人口減少の影響もあり落ちています。対策としては、これから建設する港団地については、単身世帯向けを多くし、他の公営住宅についてもユニットバス化をするなどしています。

港団地完成　イメージ

今後10年間の財政収支計画が示される
慎重な財政運営が必要

9月定例会において「所管事務調査報告」（※1）が行われました。

総務・経済常任委員会は６月定例会以降、所管事務調査を４回にわたり開催し、９月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第４回　６月20日開催
総務・経済常任委員会

○まちづくり新幹線課
・企業誘致について（継続）
○建設水道課
・合併浄化槽設置助成事業について

第５回　８月２日開催
総務・経済常任委員会

○まちづくり新幹線課
・観光事業（観光交流センター、広域）について
○産業経済課
・観光事業（町内）について

第６回　８月30日開催
総務・経済常任委員会

○総務課
・工事契約について
・財政収支計画について

「所管事務調査報告」

先を見据えた財政運営を

平成29年度決算を踏まえ、財政収支計画（平成40年度までの10年間）が示された。

その計画の最終年である平成40年度の基金残高は、現在の残高の約19億円から約３千万円となるもので、先を見据えた慎重な財政運営が必要となっている。

今後、振興計画等の事業を進めるにあたっては、国・道の補助金や起債を活用するとともに自主財源の確保を念頭に置くなど、将来に向けてより安定的な財政運営を望む。

企業誘致用地の地盤改良費用は

本議会では、平成28年度以降町が取得した企業誘致用地に、企業がホテルを建設するための木古内町企業振興促進条例に基づいた補助金をはじめ、土地造成工事に要する予算について可決をした。

この際に町は、町有地を無償貸与するにあたり、必要な排水路工事や地盤改良などに要する事業費をあらかじめ積算しておらず、施工直前で高額費用を示した。本来、行政から土地を取得する際に十分な説明が必要な内容であるが、当委員会としても、そこを指摘出来なかった点もあり、お互い反省すべきである。

いずれにしても、今後も十分な町民理解を得るために、より透明性のある行政運営に努める必要がある。

財政収支計画とは…今後の財政運営の目安として一定の前提条件のもとに算出した計画であり、各年度の予算を拘束するものではありません。また、予算は毎年度制度改正等を踏まえ計上し、安定した財政運営に努めることとしています。

（※１）所管事務調査報告…定例会までに行った所管の事務調査内容をまとめた報告書。定例会ごとに内容を報告。

議員活動の場を広げ

様々な研修会　イベントに参加

お知らせ
NEWS & INFORMATION

8. 22　議会広報研修会に参加 より解りやすい広報へ

８月22日（水）、札幌市において議会広報クリニック研修会が開催され、編集委員２名と事務局が出席しました。 研修会で指導があった点などを参考にし、より解りやい議会だよりを目指していきます。

8. 23　議員サマースクール 地方創生について学ぶ

８月23日（木）札幌市において開催された地方議員向けサマースクールに３名の議員が参加し、地方創生について学んできました。この研修会は、毎年情勢に合わせた講義テーマで開催されています。当議会では、数年前より参加しています。

9. 26　交通安全街頭啓発 みそぎ浜で旗振り

９月21日（金）からはじまった秋の全国交通安全運動に合わせて議員全員による交通安全の啓発運動を、みそぎ浜駐車帯で実施しました。

今後も、議員活動の一環として交通安全啓発運動に取り組んでいきます。

10. 16　渡島管内市町議会議員 研修会へ参加

10月16日（火）、北斗市において渡島管内市町議会議員研修会が開催され、当議会も参加しました。研修内容は、議員のなり手対策、北海道の動向など２名の講師より講演があり、実りある研修となりました。

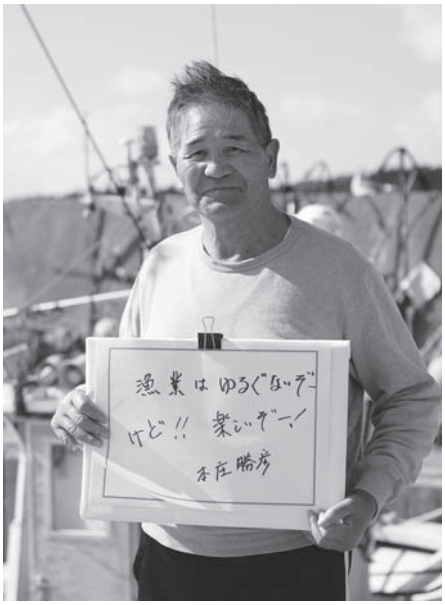
発行／木古内町議会
編集／議会だより編集特別委員会

住所／〒049-0422　北海道上磯郡木古内町字本町218番地
TEL（01392）2－3131　FAX（01392）2－3622

あなたの思いを　お聞かせください。

町民インタビュー　募集中

議会事務局（TEL2－3131）までご連絡ください。
直ぐに取材対応できない場合もございます。予めご了承ください。



編集後記

■9月は胆振東部地震や台風による自然災害が断続的に発生し、町民の皆様におかれましては不安な日々を過ごされた事と思います。大変な時こそ「お互い様の精神支えあい」が何よりも心の安心に繋がると感じました。停電が丸一日続き、大変不便な生活でしたが、今ある日常の当たり前に改めて感謝されたかたが多かったのではないでしょうか。特に上下水道の担当課が不眠不休で作業したことにより、断水もなく本当に安堵しました。今後とも子どもからお年寄りまで、安心して暮らせるように一生懸命取り組んで参ります。

■遂に動画サイトユーチューブで議会中継の動画を配信できるようになりましたのでご視聴ください。

■町民インタビューをスタートしてから早2年が経ち老若男女幅広いインタビューにご協力を賜り、この場を借りて皆様に感謝申し上げます。今後とも「家族で読める」を目指し議会だよりの使命を果たせるよう心掛けていきます。これからも日々寒くなりますので、町民の皆様も風邪を引かぬようお過ごしください。

議会だより編集特別委員会
委員長　鈴木　慎也